

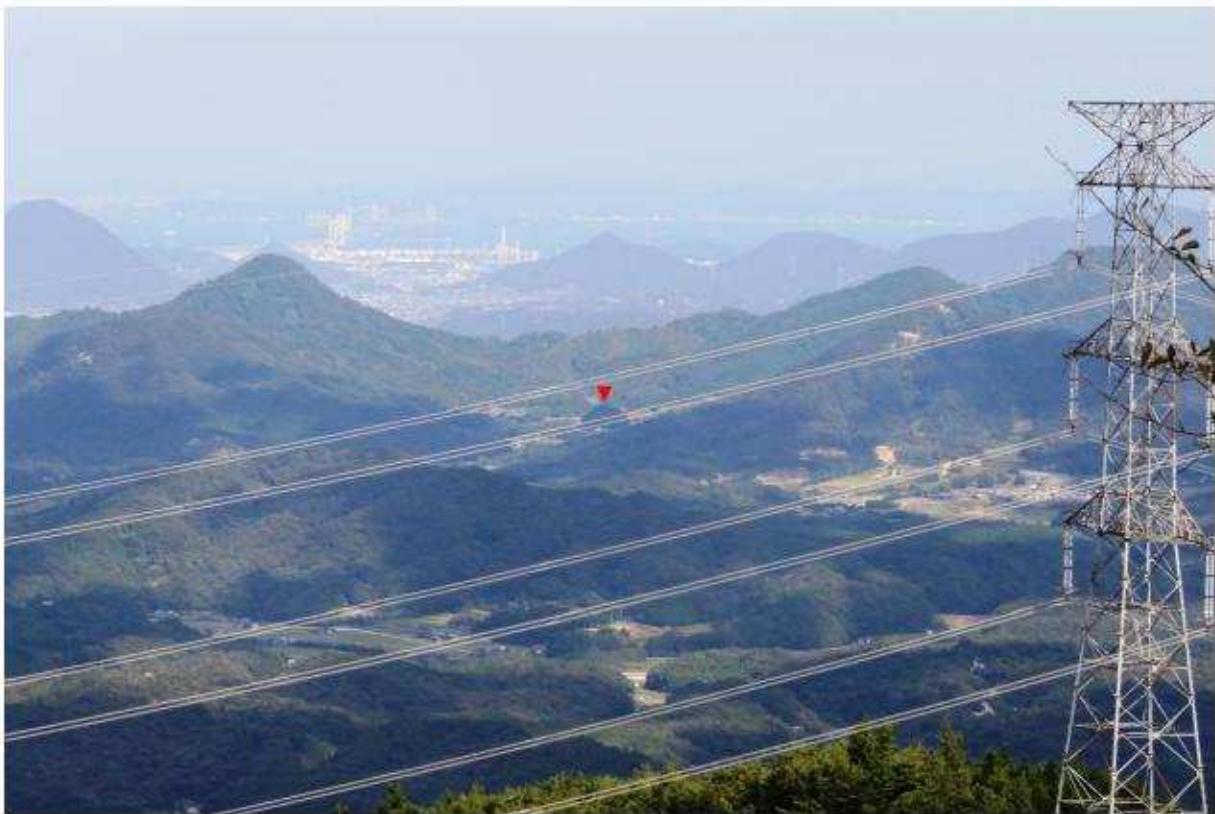
# 金岡院経塚

平成27年度



2016年3月

まんのう町教育委員会



金剛寺と金華山(金剛院経塚)遠景 中寺廃寺跡より



経塚S9 完掘状況 西より

[表紙]経塚S9 調査前状況 東より

# 序 文

まんのう町教育委員会では、地元にある文化財の保存と活用を目的に各種の調査を行っており、今回上梓しました報告書は、平成 27 年度に実施しました各種調査のうち、金剛院経塚に係るもので、金剛院経塚のこれまでの調査につきましては、昭和 37 年に実施した発掘調査で陶製の経筒外容器などが出土し、町の資料館で保管展示しております。

「まんのう町仏教関係遺跡群調査」の一環として、これまでの調査を補完すべく、平成 23 年度から本格的な調査を開始しております。平成 23 年度には、第 2 テラスの発掘調査を実施し、遺構 3 基、土坑 1 基、溝状遺構 1 条を検出しております。平成 24 年度には、第 1 テラスの地形測量を実施し、山頂のほぼ全域において経塚の分布が見られることを確認しております。平成 26 年度は第 1 テラスにおいて測量調査を実施しました。

今年度も第 1 テラス南半で 2 カ所のトレンチ調査と、経塚 1 基の発掘調査を実施いたしました。

今回の調査でも多くの成果と課題が出ており、今後の調査を企画実施するために大いに活用しなければならないと考えております。

このたび、多くの方々の御高配と御尽力により、『まんのう町内遺跡発掘調査報告書第 14 集 金剛院経塚 平成 27 年度』を発刊する運びとなりました。本報告書が研究資料として広く活用されますとともに、文化財に対する理解と関心が一層深められることになれば幸いです。

最後になりましたが、本発掘調査に格別の御指導と御協力を頂きました関係の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、今後とも宜しく御支援賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 3 月

まんのう町教育委員会

教育長 斎 藤 賢 一

## 例　　言

1. 本報告書は、まんのう町教育委員会が、文化庁の文化財補助金を受けて平成 27 年度国庫補助事業として実施した、香川県仲多度郡まんのう町炭所東 1686-1 他に所在する金剛院経塚発掘調査の報告を収録した。
2. 発掘調査及び報告書の作成は、まんのう町教育委員会が実施した。
3. 発掘調査及び報告書の作成にあたって、以下の方々のご教示、また関係機関の協力を得た。記して謝意を表したい。(順不同、敬称略)  
片桐孝浩、上里八重子、山下平重、香川県教育委員会生涯学習・文化財課、金剛寺檀家の皆様
4. 本報告書で用いる方位の北は、旧国土座標第IV系の北であり、標高は T.P. を基準としている。
5. 挿図の一部に、国土地理院長の承認及び助言を得て同院所管の測量標及び測量成果を使用して得た平成 20 年 3 月測図まんのう町 1:2500 地形図を縮小編集したまんのう町全図 (1:10000、承認番号 平 19 四公 第 4 号) を使用した。

## 目 次

|             |    |
|-------------|----|
| I. 金剛院経塚    | 1  |
| 1. 立地と環境    | 1  |
| (1) 地理的環境   | 1  |
| (2) 歴史的環境   | 1  |
| 2. 調査の経緯と経過 | 1  |
| (1) 調査に至る経緯 | 1  |
| (2) 調査の経過   | 3  |
| 3. 調査の成果    | 5  |
| (1) 遺構      | 5  |
| (2) まとめ     | 11 |
| II. 周知と活用   | 12 |

## 挿 図 目 次

|                      |    |
|----------------------|----|
| 第1図 遺跡位置図            | 2  |
| 第2図 平坦地分布図           | 4  |
| 第3図 金剛院経塚全体図         | 6  |
| 第4図 第1テラス 経塚検出状況平面図  | 7  |
| 第5図 第1テラス トレンチ1・2断面図 | 9  |
| 第6図 経塚S9平・断・立面図      | 10 |

## 写真図版目次

- 卷頭図版 金剛寺と金華山(金剛院経塚)遠景 中寺廃寺跡より  
経塚 S9 完掘状況 西より
- 図版 1 金剛寺と金華山(金剛院経塚)全景 南東より  
S9 付近 挖削前状況 東より
- 図版 2 S9 挖削前状況 西より  
S9 挖削前状況 北より
- 図版 3 第1テラス トレンチ1 東半 北壁土層断面 南東より  
第1テラス トレンチ1 西半 南壁土層断面 北西より
- 図版 4 第1テラス トレンチ2 南半 西壁土層断面 南東より  
第1テラス トレンチ2 北半 東壁土層断面 北西より
- 図版 5 S9 石室 検出状況 西より  
S9 石室 検出状況 北より
- 図版 6 S9 石室東半 北壁断面 南より  
S9 石室西半 南壁断面 北より
- 図版 7 S9 石室南半 西壁断面 東より  
S9 石室 北東グリッド 東壁断面 西より
- 図版 8 S9 石室 完掘状況 東より  
S9 石室 完掘状況 西より
- 図版 9 S9 石室 完掘状況 南より  
S9 石室 完掘状況 北より
- 図版 10 S9 最下層より検出した石群 南より  
SP01 完掘状況 南より

## I. 金剛院経塚

### 1. 立地と環境

#### (1) 地理的環境

まんのう町は、平成 18 年 3 月 20 日に香川県仲多度郡南部の 3 町(琴南町、満濃町、仲南町)が合併して誕生した町である。香川県中部(中讃)に位置し、東は綾川町・高松市、西は三豊市、北は丸亀市・善通寺市・琴平町、南は徳島県美馬市・三好市・東みよし町に接している。町の面積は 194.45 km<sup>2</sup>、人口は約 2 万人である。町の南部及び南西部には、標高 1,000m を超える竜王山(1059.9m)、大川山(1042.9m)を主峰とする讃岐山脈が連なり、その麓を県下で唯一の一級河川土器川が北流している。

金剛院経塚のある炭所東金剛院地区は、土器川右岸の鷹丸山・猫山・小高見峰に囲まれた狭隘な谷部に開けた大柞川沿いに位置する。金剛院地区は山間部にありながら、阿弥陀越や法師越といった峠道により交通の便は良く、古来より峠を介しての往来が盛んな地域であった。金剛院地区の谷部のほぼ中央に金華山と呼ばれる標高約 207m の小山があり、その南側斜面に石仏山金剛寺が、山頂部に経塚群が所在する。

#### (2) 歴史的環境

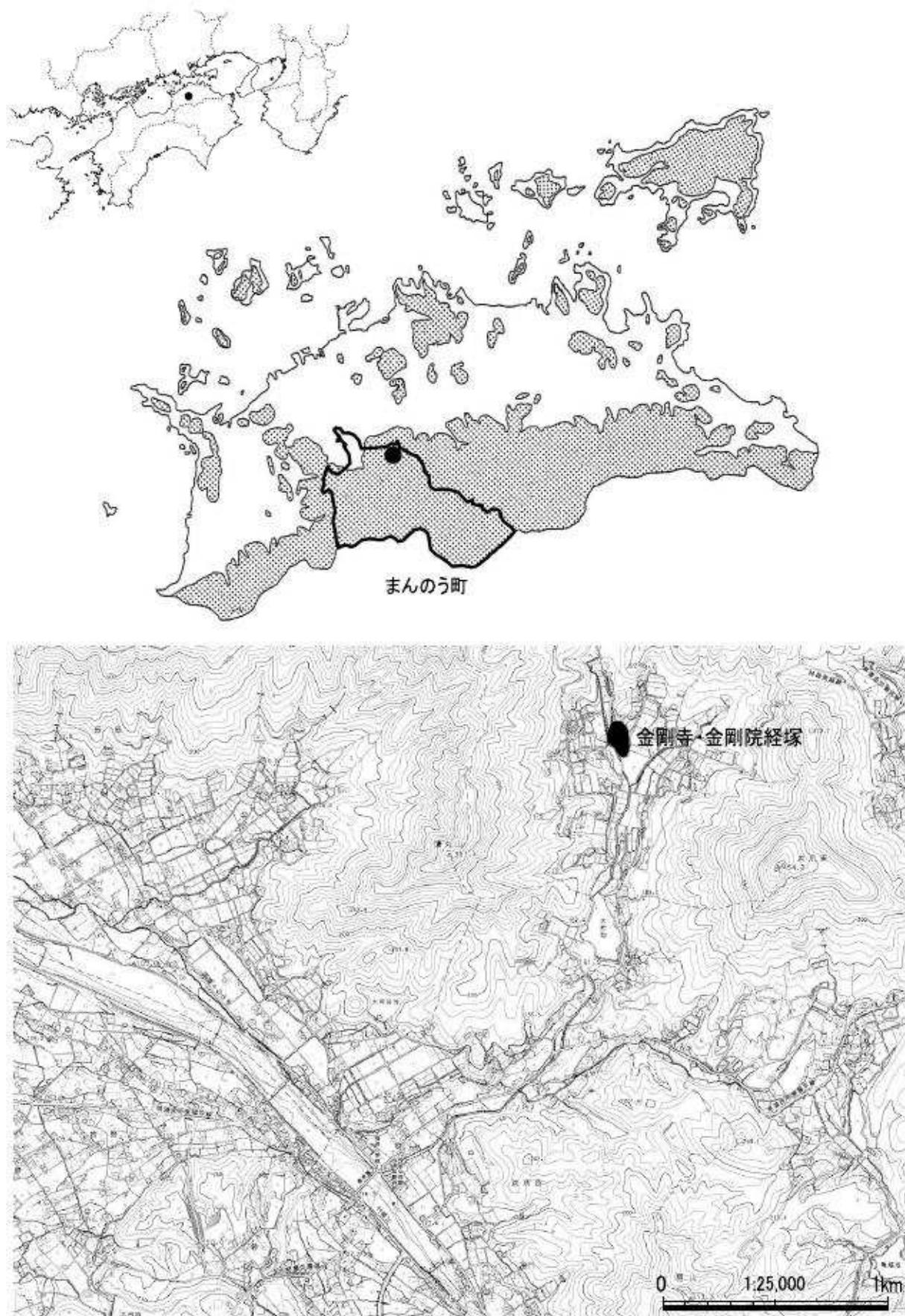
まんのう町内には各時代・各種類の文化財が散在しているが、中でも古代から中世にかけての重要な仏教関係遺跡が所在することが特徴である。白鳳・奈良期の古代寺院である弘安寺廃寺・佐岡寺跡、平安時代の山林寺院である国指定史跡中寺廃寺跡、平安時代後期から中世の山林寺院である尾背廃寺跡、平安時代後期の経塚群が所在する金剛院経塚、弘法大師空海との関係が深い満濃池・神野神社・神野寺等である。

これらは中寺廃寺跡と満濃池を除き詳細な調査は行われていないが、これまでの断片的な調査から見えてくるものは、白鳳・奈良期の古代寺院、平安時代の古代山林寺院、平安時代後期～中世の山林寺院、経塚群という変遷の可能性であり、またこれらが約 10 km の範囲内に所在し相互に関係した可能性が高く、まんのう町に古代から中世にかけて華開いた仏教文化を物語る貴重な文化財といえる。

## 2. 調査の経緯と経過

#### (1) 調査に至る経緯

金剛院地区には仏縁地名が多く残り、平安時代末期から鎌倉時代に繁栄した大規模な寺



第1図 遺跡位置図

院が存在したとの伝承が語り継がれてきた。現在の金剛寺は後に再興されたものである。

しかし、金剛寺の由来を記した古文書は現在まで確認されておらず、金剛寺門前に建立された十三重の石塔(鎌倉時代後期)のみが歴史を物語る資料であった。昭和時代に入ると集石群が露出した金剛寺裏山より、瓦や土器などの遺物が採集され始めた。

そこで昭和 37 年、地元有志を中心とした金剛院経塚の発掘調査が行われた。当時の記録によると陶製経筒外容器 5 点が埋納された経塚 1 基を完掘し、陶製経筒外容器 1 点が埋納された経塚 1 基を半掘したとある。調査時に出土した遺物は、調査以外で採集された遺物とともに金剛寺で保管されていた。現在、保存状態の良い鉄製経筒 1 点、陶製経筒外容器 9 点、陶製経筒外容器蓋 9 点、銅鏡 1 点がまんのう町の有形文化財に指定され、未指定の遺物も含め町へ寄託されている。

まんのう町では町内の仏教関係遺跡群を計画的に調査・整備し、地域住民の誇りとなる大切な文化財として、保護・活用を図ることを目的に「まんのう町仏教関係遺跡群調査事業」を展開している。その一環として、平成 15 年度から 25 年度までは、国指定史跡中寺廃寺跡の調査及び保存整備を実施してきた。平成 23 年度からは、まんのう町炭所東字金剛院の石仏山金剛寺裏山に位置する「金剛院経塚」の調査に着手している。

## (2) 調査の経過

調査区は現状でのテラスの分布状況に基づき、頂上のテラスを第 1 テラス、2 段目を第 2 テラスと呼称する。

平成 23 年度、第 2 テラスのトレンチ調査では、山側を切土し谷側に盛土した平坦面造成の痕跡を確認した。平坦面上で柱穴、土坑、排水溝を確認したが、いずれも時期は特定できなかった。平成 23 年 10 月から平成 24 年 4 月にかけて、平成 22 年に町の有形文化財に指定された金剛寺十三重塔周囲の発掘調査を行った。塔は建立された鎌倉時代後半より大きく位置を変えず、現在に至ることを確認した。また塔西沿いには参道の存在を確認した。平成 24 年度は第 1 テラス南半の地形測量及び、経塚群の分布状況を確認するための精査を行い、標高差約 3.5m の間に 16 群の石群が存在することを確認した。昨年度の調査ではさらに第 1 テラス南半の精査を進め、経塚群検出状況の記録を行った。精査の際に、推定地点を含め 12 箇所の経筒抜き取り痕を確認した。

本年度の発掘調査は平成 27 年 8 月 27 日から平成 27 年 12 月 22 日まで、まんのう町教育委員会が行った。第 1 テラス南半において、トレンチ 2 箇所、経塚 1 基の掘削調査を行



第2図 平坦地分布図

った。今回の調査では、遺物は出土しなかった。発掘調査終了後に報告書編集作業を行つた。

### 3. 調査の成果

#### (1) 遺構

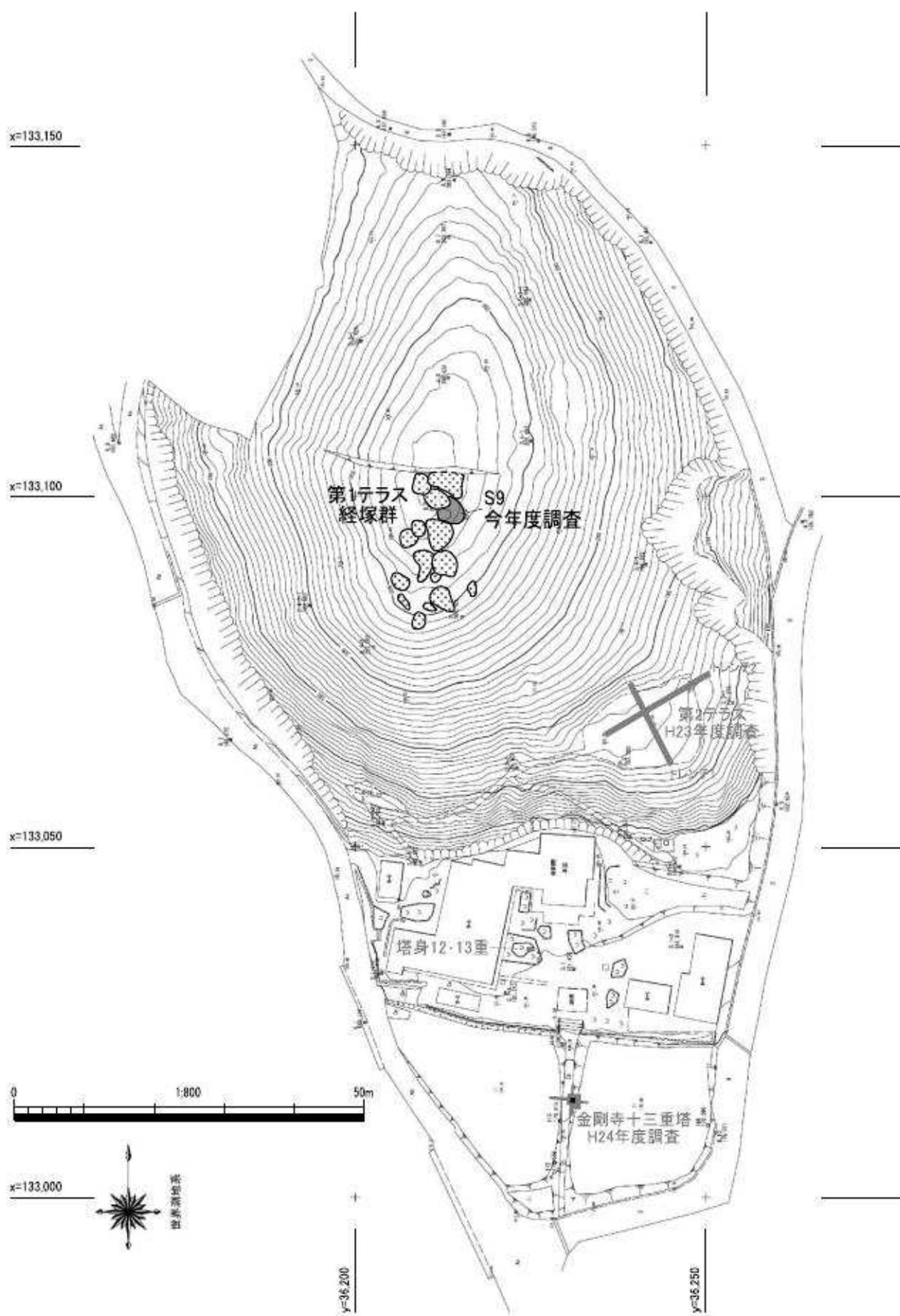
本年度は第1テラス南半において、トレント1・2、経塚S9の掘削調査を行つた。第1テラスは金剛寺裏山の金華山山頂部にあたり、標高207.6m、テラスの南北約50m、東西約26m、外周約127m、面積約1,032m<sup>2</sup>である。山頂部全体にテラスが広がるが、頂上から北半は近年の耕作地造成によって削平されており、経塚群も現地表面では確認できない。調査を実施した南半は、面積423.37m<sup>2</sup>である。現地表面は、金剛寺建造物の建て替え・修繕用に植林された樹齢60~80年のヒノキと、自然発生した雑木に覆われ、それらの根が這う隙間に、経塚を構成していたとみられる直径10~60cmの石が散乱している。平成24年度の調査で地形測量を行い、標高差3.5mの間で散乱する石が概ね16群にまとまるこことを確認した。この16群の中には、ある1群から転落もしくは除去されて、もう1群を形成した個体も存在する。平成26年度の調査で、散乱した石群の上面に積もった落ち葉、腐葉土を除去し検出した状態を平面実測した。

#### トレント1

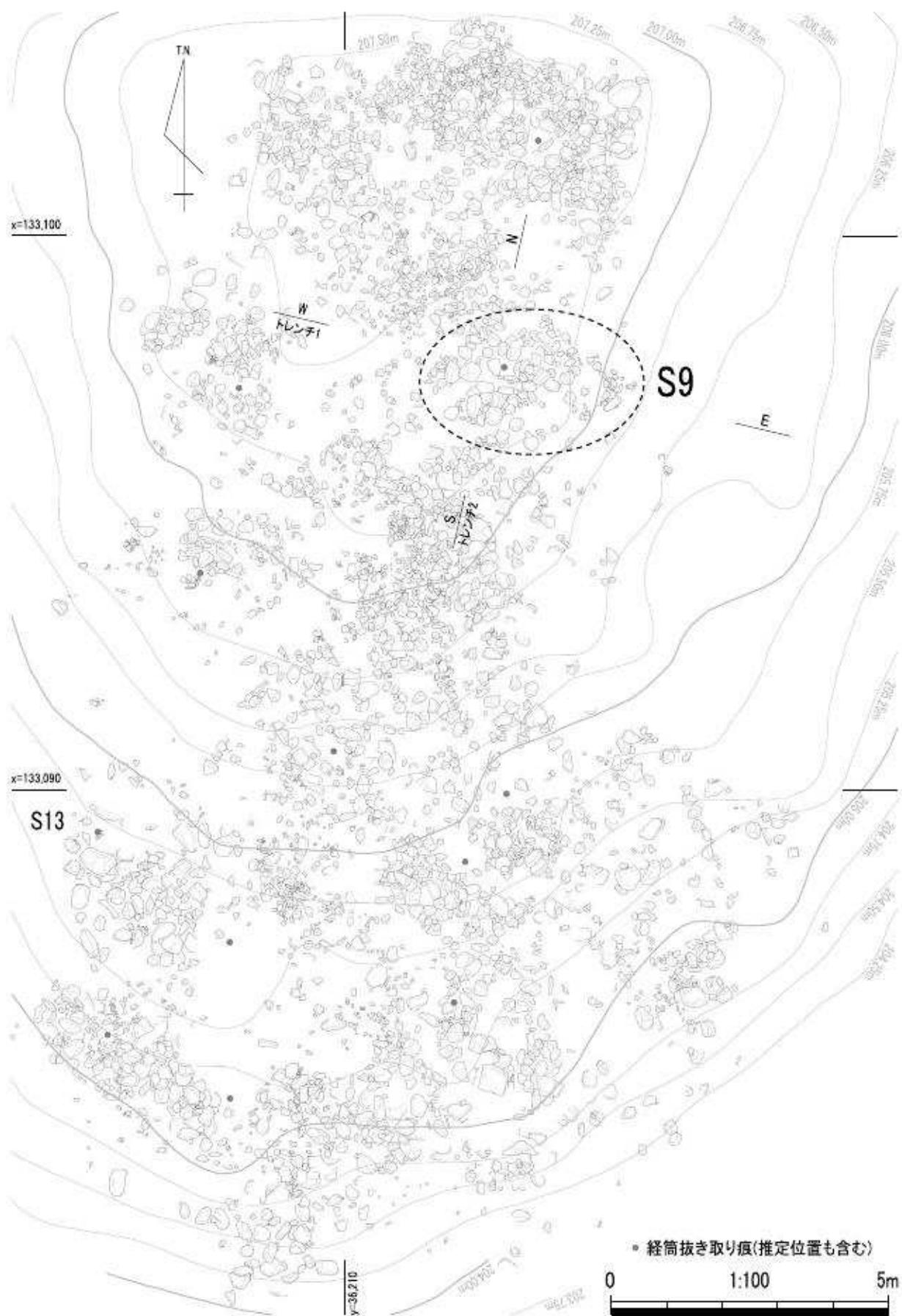
S9の傾斜に直交する標高207.40mから206.40mにかけて、西から東へ7.5m、幅0.5mで設定した。当初は経筒抜き取り痕上を掘削するように計画していたが、実際の抜き取り痕は北東へややずれていた。土層序は第1層-現代の堆積土層(腐葉土層)、第2層-新しい経塚が埋没した層(腐植土層)、第3層-地山(暗い粘質土)、第4層-古い経塚が埋没した層(明るい粘質土)、第5層-地山(しまり強い粗砂質土層)から成る。山頂部は水平に、斜面部は地山と同じ傾斜で堆積している。S9の経筒抜き取りの際に移動された石は第2層に埋没しているが、第1層内で見られる石はその後の植林等の様々な要因でさらなる移動をしたものと考えられる。トレント内では経塚以外の遺構は確認されなかった。遺物も出土しなかつた。

#### トレント2

S9の傾斜に並行する標高207.30mから207.10mにかけて、南から北へ4.2m、幅0.5mで



第3図 金剛院経塚全体図



第4図 第1テラス 経塚検出状況平面図

設定した。トレンチ 1 と同じく経筒抜き取り痕上を掘削するように計画していたが、実際の抜き取り痕は北東へややすれていた。土層序はトレンチ 1 と同じである。各層は地山と同じ傾斜で堆積しているが、トレンチ北寄りではわずかに窪みが確認できる。また、トレンチ 1 の西半とトレンチ 2 の北半では第 2 層内で石が確認できないことから、S9 の経塚抜き取り時の搅乱坑は主に南東部に向かって開けられたと考えられる。

### 経塚 S9

比較的、経筒抜き取り痕を推定しやすい石群であり、石が分布する状況より造営当初の遺構を残す可能性が高かったことから発掘調査を行った。

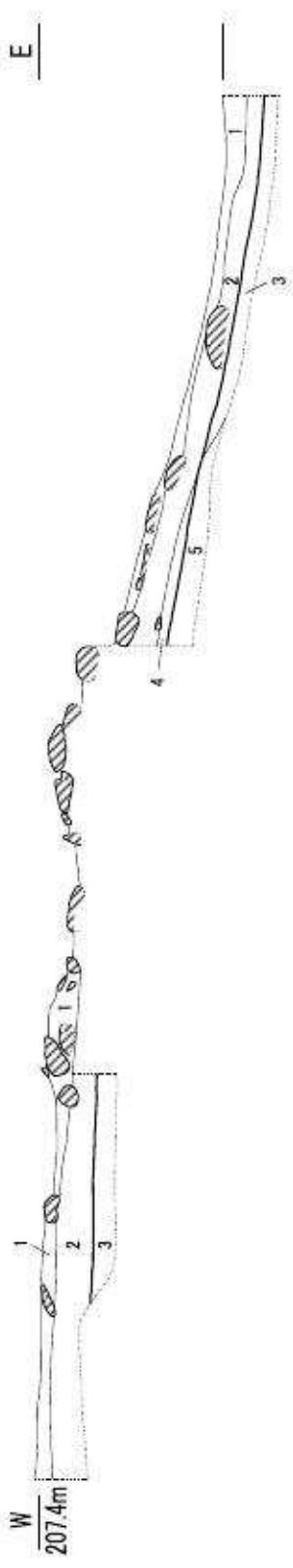
上部を覆っていた転落石と他所から移動したと考えられる石を除去したところ当初推定していた抜き取り痕よりやや北東にずれた位置で円形に並ぶ石列の上部を確認した。この円形に並ぶ石列を中心に掘削を行った結果、石列はほぼ半円で、石列の南東部分から南東下の斜面に向けて搅乱坑を確認した。中央部はやや窪んでいたため、経筒は抜き取られていると考えていたが、外容器の破片等もなく、遺物は全く確認できなかった。石列の直径は推定 1m、内径は約 60cm、深さは 27cm である。この石列の内側が主体部である埋納穴であり、石室を構築していたとみられる。石室の側壁は直径約 15cm から 30cm の石が、上下 1 段から 2 段積まれた状態で残っており、ほぼ垂直に立っている。搅乱坑を含め、周囲には残り半円分の石列を構築しても余るほどの石が存在することから、石室を構築した後、上面に蓋をし、さらにその周囲を盛石したのではないかと考えられる。底石は一部残っていたが、その他は水平に設置されていないことから、一度移動して乱雑に戻されたと考えられる。

経塚は第 3 層(浅黄橙色粘質土、地山)直上に造営されている。経塚、石室内の埋没土は共に、第 2 層(灰褐色細砂質土、腐植土)である。石室内はある時期に埋納物を抜き取られただまま放置され、後に経塚全体が埋没したものとみられる。

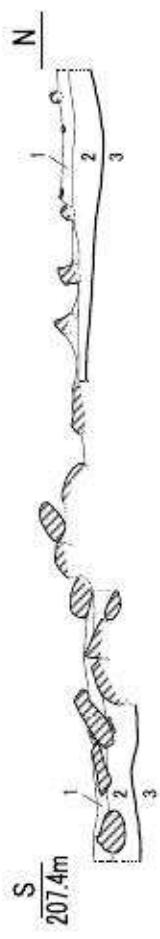
### SP01

経塚 S9 南東部分の厚く堆積した搅乱坑の石を除去したところ、経塚 S9 が造営された第 2 層下より、第 4 層(黄橙色粘質土)約 15cm を確認した。第 4 層では経塚 S9 の石は出土せず、第 5 層(にぶい黄橙色粗砂質土、地山)を掘り込む SP01 を検出した。SP01 は直径 19cm、深さ 10cm で底石を確認した。第 5 層直上より、直径約 30cm の劣化の進んだ花崗岩や風化

トレンチ1



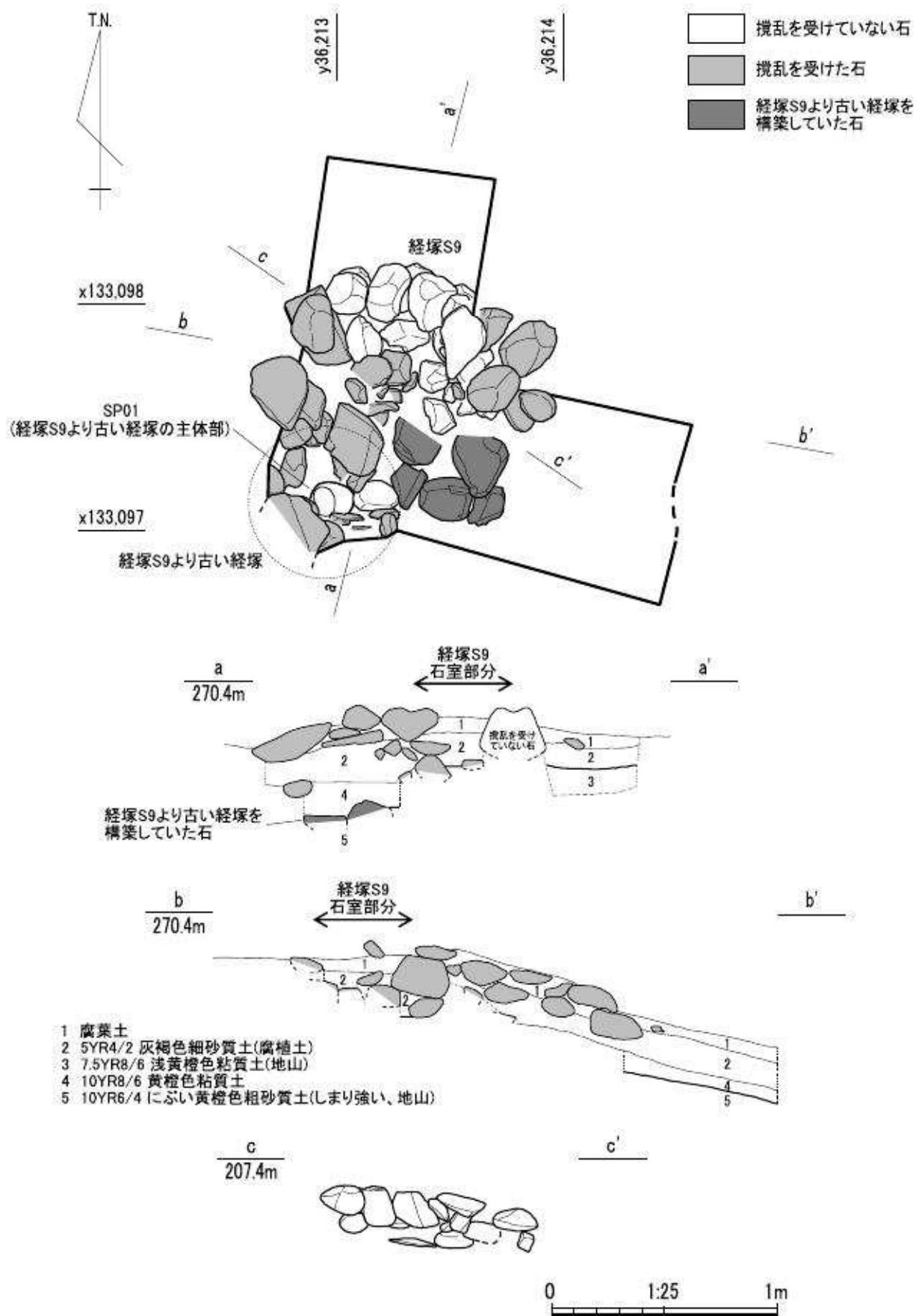
トレンチ2



- 1 腐葉土  
2 5YR4/2 灰褐色細砂質土(腐植土)  
3 7.5YR8/6 深黃橙色粘質土(地山)  
4 10YR8/6 黃橙色粘質土  
5 10YR6/4 [にふい]黄褐色相砂質土(しまり強い、地山)

0 1.40 2m

第5図 第1テラストレンチ1・2 断面図



第6図 経塚S9 平・断・立面図

の進んだ安山岩等を検出した。経塚 S9 を構成している石材は、地表面で確認している周囲の石群の多数を占める砂岩である。SP01 は経塚 S9 より古い時代に第 5 層直上に造営された、別の経塚の主体部であった可能性が高い。なお撹乱を受けており、遺物は出土しなかった。

## (2) まとめ

今回の調査では、1 基ではあるが経塚の発掘調査を行い、主体部に石室を持つ構造であることを確認した。これは昭和 37 年の調査報告や出土遺物の内容も考え合わせると、平安時代から鎌倉時代に営まれた経塚であることを裏付ける。経塚の種類としては紙本経、瓦経、銅板経等様々なタイプが存在する中で、主に経筒、経筒外容器が多数出土していることを考えると紙本経経塚であろう。

今回、現在の地表面上で推定される経筒抜き取り痕と実際の経塚主体部には、ずれがあることが分かった。また、S9 の下層、密接する位置でさらに古い時代の経塚を確認したことで、さらに多くの経塚が眠っている可能性が出てきた。

今年度の発掘調査は S9 の 1 基に留まったが、S13 をさらに精査したところ、外容器が埋納されたままの状態で残っていることを確認した。S9 よりも残存状況が良い可能性があることから、今後 S13 についても発掘調査を行い、詳細な構造の確認や、副納品の出土に期待したい。また町寄託遺物についても検討を行いたい。

## 参考文献

草薙金四郎／昭和 38 年／金剛院の経塚発掘について／文化財協会報特別第 6 集／香川県文化財保護協会

保坂三郎・三宅敏之・兜木正亨／昭和 52 年／新版仏教考古学講座 第 6 卷 III 経塚 IV 特論／雄山閣

## II. 周知と活用

本町教育委員会社会教育課文化財室では町内文化財の周知と活用を図るため、出前授業、外部団体からの依頼による講師派遣、町民講座開設、重要遺物特別展示、県との共催展示、講演会開催、外部団体との共催現地見学、琴南ふるさと資料館と旧仲南北小学校民具展示室の常設展示、町内公共機関でのパンフレットの配布、まんのう町文化祭と琴南地区文化祭での文化財関連の展示、他団体の発行物への寄稿等を行っている。

### 活動実績

| 実施日       | 内容   | 参加者数   |
|-----------|--|--------|
| H27.2.16  | 長炭小学校3年生 旧仲南北小学校民具展示室見学                    | 20     |
| H27.3.22  | ことなみイベント協会 中寺廃寺跡を巡る大川山ウォーク                 | 65     |
| H27.3.29  | 三豊市文化財保護協会隣地研修 旧仲南北小学校民具展示室見学              | 約20    |
| H27.5.22  | 琴南小学校6年生 琴南ふるさと資料館歴史授業・勾玉作り                | 11     |
| H27.5.25  | 高篠公民館 体験学習「勾玉作り」                           | 48     |
| H27.6.10  | 第3回仲南大学講演「文化財について」                         | 131    |
| H27.6.14  | まんのう町老人会連合会仲南支部 琴南地区神社巡り                   | 20     |
| H27.6.27  | 第1回まんのう文化財町民講座「文化財入門」                      | 40     |
| H27.7.2   | 安造田東三号墳出土モザイク玉調査報告発表記念展示                   | 1449   |
| H27.7.11  | まんのう町文化財保護協会仲南支部総会 講演「国指定史跡中寺廃寺跡 遺跡と保存整備」  | 20     |
| H27.7.16  | 長炭小学校 安造田東三号墳出土モザイク玉説明会                    | 50     |
| H27.7.19  | 神野公民館 体験学習「勾玉作り」                           | 15     |
| H27.7.28  | 香川県埋蔵文化財センター「讃岐国府を探る6」琴南ふるさと資料館展示          | 172    |
| H27.8.4   | 吉野公民館 チャイルドサマースクール「まが玉作り教室」                | 19     |
| H27.8.6   | 吉野公民館 チャイルドサマースクール「子どもふるさと探検隊琴南ふるさと資料館見学」  | 25     |
| H27.8.7   | 四条公民館 体験学習「まが玉作り教室」                        | 22     |
| H27.8.9   | 安造田東三号墳出土モザイク玉調査報告会                        | 322    |
| H27.8.23  | 長炭公民館 体験学習「まが玉作り教室」                        | 30     |
| H27.9.7   | まんのう町婦人連絡協議会 第2回中央女性大学「琴南地区的文化財視察」         | 76     |
| H27.9.14  | 吉野公民館 みよしの探訪クラブ 安造田東三号墳現地見学                | 29     |
| H27.9.19  | 第2回まんのう文化財町民講座「安造田東三号墳とまんのう町の後期古墳」         | 73     |
| H27.10.12 | まんのう町老人会連合会仲南支部研修 安造田東三号墳現地見学              | 50     |
| H27.10.19 | 満濃南小学校 安造田東三号墳出土モザイク玉説明会                   | 41     |
| H27.10.25 | まんのう町文化祭 安造田東三号墳モザイク玉展示                    | 約1,000 |
| H27.10.26 | 琴南中学校 安造田東三号墳出土モザイク玉説明会                    | 10     |
| H27.10.31 | 琴南地区文化祭 琴南ふるさと資料館開放                        | 55     |
| H27.11.3  | 一般財団法人ことなみ振興公社共催企画 第1回まんのう町歴史探訪「三頭峠の文化財巡り」 | 30     |
| H27.11.17 | 満濃南幼稚園 安造田東三号墳出土モザイク玉説明会                   | 約50    |
| H27.11.21 | 四条公民館 ほのぼの探訪「安造田の古墳見学」                     | 30     |
| H27.11.29 | まんのう町文化財保護協会ふるさと文化財探訪「中通地区」                | 14     |
| H27.11.30 | 仲多度善通寺地区中・高校長協議会 安造田東三号墳出土モザイク玉説明会         | 15     |
| H27.12.11 | 一般団体「安造田の古墳見学」                             | 27     |
| H27.12.19 | 第3回まんのう文化財町民講座「今度はモザイク玉を作る!!」              | 30     |
| H28.2.7   | 旧仲南北小学校民具展示室活用企画「なつかしの写真展」                 | 360    |
| H28.2.15  | 長炭小学校3年生 旧仲南北小学校民具展示室見学                    | 15     |
| H28.2.19  | 四条小学校3年生 旧仲南北小学校民具展示室見学                    | 36     |

※平成26年度末の未報告分を含む

本年度は7月に、奈良文化財研究所より安造田東三号墳出土モザイク玉の調査報告<sup>(1)</sup>発表があり、それに伴う公開展示、説明会開催、小・中学校への出前授業等の活動が町内からの要請も多く、年間を通して実施している。また新たな試みとして町民講座・写真展を開催した。活動回数は例年の2倍以上に増加した。中寺廃寺跡の現地見学に関しては、活動実績にはあまり反映されていないが、現場作業中に出会った少人数のグループを案内することも度々あり、また昨年度同様、現地に設置したパンフレットの減枚数より推定すると1カ月に20~30人の安定した来訪があると考えられる。

町民講座については町内の方々より、こういった講座が町内で開かれるのを待っていた、このような講義をして欲しい等たくさんのご意見、好評を得ており今後も内容を充実させ継続していきたい。今年度は活動内容が急激に増加し対応に追われたが、次年度は予測できるものは十分準備を行い計画的に進め、子どもの郷土を愛する心の養育や、住民の方々が地域を活性化しようとする活動へ貢献できる内容を目指していきたい。

(1)田村朋美／2015年6月26日／香川県安造田東3号墳出土モザイク玉の材質・構造調査 P68／奈良文化財研究所

紀要 2015／奈良文化財研究所

### 活動の様子



H27.2.16  
長炭小学校3年生 旧仲南北小学校民具展示室見学



H27.5.22  
琴南小学校6年生 琴南ふるさと資料館歴史授業



H27.5.25  
高儀公民館 体験学習「勾玉作り」



H27.7.2  
安造田東三号墳出土モザイク玉調査報告発表記念展示



H27.7.16

長炭小学校 安造田東三号墳出土モザイク玉説明会



H27.8.4

吉野公民館「子どもふるさと探検隊琴南ふるさと資料館見学」



H27.8.9

安造田東三号墳出土モザイク玉調査報告会



H27.8.9

安造田東三号墳出土モザイク玉調査報告会 展示会場



H27.9.19

第2回町民講座「安造田東三号墳とまんのう町の後期古墳」



H27.11.3

第1回まんのう町歴史探訪「三頭峠の文化財巡り」



H27.12.19

第3回町民講座「今度はモザイク玉を作る!!」



H27.2.7

旧仲南北小学校民具展示室活用企画「なつかしの写真展」



金剛寺と金華山(金剛院経塚) 全景 南東より



S9付近 挖削前状況 東より

図版2



S9 挖削前状況 西より



S9 挖削前状況 北より



第1テラストレンチ1東半 北壁土層断面 南東より



第1テラストレンチ1西半 南壁土層断面 北西より

図版4



第1テラストレンチ2南半 西壁土層断面 南東より



第1テラストレンチ2北半 東壁土層断面 北西より



S9石室 検出状況 西より



S9石室 検出状況 北より

図版6



S9石室東半 北壁断面 南より



S9石室西半 南壁断面 北より



S9石室南半 西壁断面 東より



S9石室 北東グリッド 東壁断面 西より

図版8



S9石室 完掘状況 東より



S9石室 完掘状況 西より



S9石室 完掘状況 南より

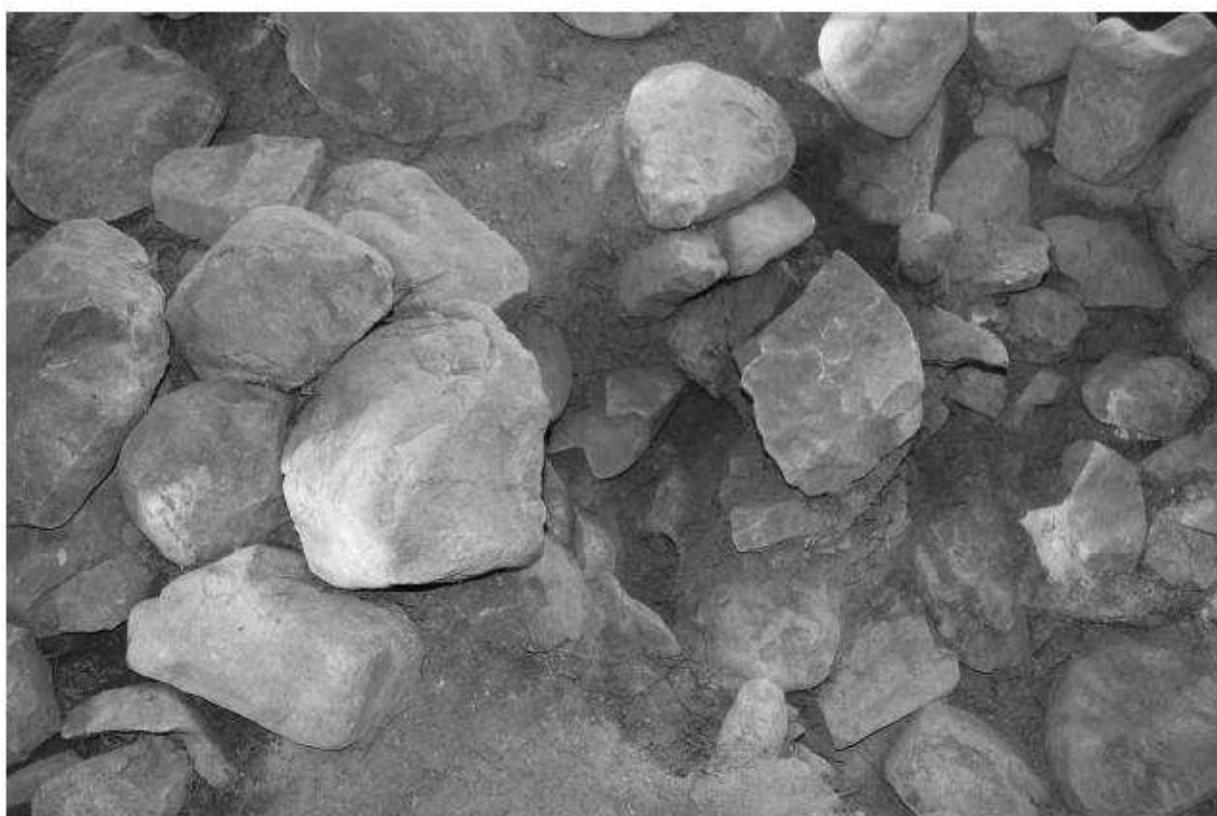


S9石室 完掘状況 北より

図版10



S9最下層より検出した石群 南より



SP01 完掘状況 南より

## 報 告 書 抄 錄

|  |   |        |      |                   |                    |  |  |
|--|---|--------|------|-------------------|--------------------|--|--|
| ふりがな   | こんごういんきょうづか へいせい 27 ねんど   |        |      |                   |                    |  |  |
| 書名   | 金剛院経塚 平成 27 年度  |        |      |                   |                    |  |  |
| 副書名  |   |        |      |                   |                    |  |  |
| 巻次   | 2016 年 3 月  |        |      |                   |                    |  |  |
| シリーズ名  | まんのう町内遺跡発掘調査報告書   |        |      |                   |                    |  |  |
| シリーズ番号   | 第 14 集  |        |      |                   |                    |  |  |
| 編著者名   | 中村 文枝   |        |      |                   |                    |  |  |
| 編集機関   | まんのう町教育委員会 社会教育課 文化財室   |        |      |                   |                    |  |  |
| 所在地  | 〒766-0202 香川県仲多度郡まんのう町中通 875 番地 琴南公民館内<br>TEL(0877)85-2221 FAX(0877)85-2826 |        |      |                   |                    |  |  |
| 発行機関   | まんのう町教育委員会  |        |      |                   |                    |  |  |
| 発行年月日  | 2016 年 3 月 31 日   |        |      |                   |                    |  |  |
| 所収遺跡名  | 所在地   | コード    |      | 北緯                | 東經                 |  |  |
|  |   | 市町村    | 遺跡番号 |                   |                    |  |  |
| 金剛院経塚  | まんのう町炭所 東   | 374067 |      | 34 度 11 分<br>58 秒 | 133 度 53 分<br>35 秒 |  |  |
| 調査期間   | 調査面積  | 調査原因   |      | 種別                | 主な時代               |  |  |
| 平 27. 8. 27～平 27. 12. 22   | 423.37 m <sup>2</sup>   | 学術目的調査 |      | 経塚                | 鎌倉                 |  |  |
| 主な遺構   |   |        |      |                   |                    |  |  |
| 経塚   |   |        |      |                   |                    |  |  |
| 概要   |   |        |      |                   |                    |  |  |
| <p>金剛寺本堂裏、寺院敷地より北にあたる金華山(標高 207.6m)の頂上に存在する経塚群より、昭和 37 年の発掘調査で 12 世紀前半～13 世紀前半の経筒等が出土し、約 100 年の間に連綿と経塚が造られていたことが確認された。経塚より出土した遺物は十三重塔と共に、まんのう町の有形文化財に指定されている。</p> <p>本年度の調査は、頂上の第 1 テラスにおいて実施した。経筒抜き取り痕のある経塚 1 基を掘削調査し、搅乱を受けた石室を確認した。また、その下層より別の経塚の一部とみられる石群と経筒抜き取り痕を検出した。</p> |   |        |      |                   |                    |  |  |

まんのう町内遺跡発掘調査報告書 第14集

金剛院経塚  
平成27年度

平成28年3月31日 発行

編集・発行 まんのう町教育委員会 社会教育課 文化財室

〒766-0202

香川県仲多度郡まんのう町中通875番地 琴南公民館内

電話 (0877)85-2221

印 刷 株式会社 美巧社